

発行日 2021年1月1日 第6号
発行責任者：岐阜高山教務所長 海老原 章 岐阜市大門町1

TEL (058) 266-1378
FAX (058) 266-1392

岐阜高山教区だより



南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう

新年挨拶

新年明けましておめでとうございます。教区内ご寺院・ご門徒の皆様には、ますます御清祥のことと拝察しお慶び申し上げます。

旧年中は、宗門護持、教区の教化事業にと、格別のご尽力・ご協力を賜り、御礼申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症拡大によって、各寺院・教会におかれましては、法事・葬儀・諸法要の中止や縮小、参詣者減少など厳しい状況が続いている中にもかかわらず、本年度も本山経常費御依頼に、深いご理解のもと早期・年末完納にご協力賜りましたこと、重ねて厚く御礼申し上げます。

昨年は「岐阜高山教区」が発足し、いよいよ未来に相続する新たな歩み出しを始めました。

教化事業では本年3月改選される組門徒会員の研修会を教区教化事業と位置づけ、教区内の組門徒会員が統一したカリキュラムにおいて研修を行う準備を進めております。組門徒会員自らがその意義と役割を確かめ、教区においては教区会と教区門徒会が、組においては組会と組門徒会が、それぞれ両輪となって、適切な運営をはかり、同信同朋の実を挙げる機関として、新たな岐阜高山教区を作り上げていく礎になるうかと

存じます。

また、新型コロナウイルス感染症拡大により、様々な研修会や講座が中止となる一方で、リモートを活用した研修会・講座や会議など、工夫しながらの新しい様式も生まれており、これまで遠方で参加できなかった方がリモートで参加できるなど、工夫次第では更なる教化活動の可能性も見出しております。

コロナ禍の続く不安で苦難な状況であるからこそ、一人でも多くの方々に念仏の教えを紡いでいかなければなりません。宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要テーマ「南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう」のもと、皆様とともに歩みを進めてまいりたく、何卒昨年同様ご協力とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

合掌

教務所長	海老原 章	主 計	光樂 孟志
主 事	窪田 昌展	書 記	和田恵利子
書 記	達 顕信	書 記 補	井野 了慧
駐在教導	橘 出	駐在教導	五辻 元
教化相談員	三枝 正尚	教区雇員	宮川 摩耶

中止となりました「仏教公開講座」12月講師の宮森忠利氏（小松大谷高等学校非常勤講師）より、メッセージをいただきましたので、ご紹介させていただきます。

「人生の穴から見えるもの」

宮森 忠利

本校には毎週一時間、「宗教」の授業がある。新型コロナウイルス感染防止のため、学校が休業中の課題で三年生がよく受け止めたのは、渡辺和子さんの「順風満帆の人生などない」（『置かれた場所で咲きなさい』所載）であった。

「私たち一人ひとりの生活や心の中には、思いがけない穴がポツカリと開くことがあり、そこから冷たい隙間風が吹くことがあります。（略）その穴を埋めることも大切かもしれませんが、穴から見るということも、生き方として大切なのです。」

と、渡辺さんは、「穴を埋める」ことにのみ心を奪われている私たちの生き方に光を当てられる。さらに、

「宗教というものは、人生の穴をふさぐためにあるのではなくて、その穴から、開くまで見えなかったものを見る恵みと勇気、励ましを与えてくれるのではないのでしょうか。」

と、「宗教」に教わることの核心を語っている。

生徒たちは「人生の穴が開く」ことは決して人ごとではないと受け止めた。また、「その穴から見えるものがある」という言葉に教えられ、励まされた生徒もいた。目指していた部活動の全国大会が中止になった生徒は辛い思いを味わったが、穴から見えたこと、例えば「同期の選手の温かさ」、「普通に練習でき、大会で悔しきや喜びを味わうことができるのが当たり前ではなかった」、「穴＝チャンスだと捉えて生きていく」と記している。

「人生の穴から見えるものがある」という言葉から、一人の生徒（Nさん）のことが思い浮かぶ。Nさんは、公立高校の試験で不合格となり、今度こそはと思っていた大学受験にも失敗した。「何もかもが嫌になり、また迷惑をかけてしまったと、自分を責め、生きている意味なんかあるのか」と思うようになった。そんな時、授業で見た一本のビデオ（『村田諒太 — 父子でつかんだ世界王座』）の言葉に救われたという。プレッシャーに落ち潰されそうになる村田選手（プロボクサー）に父親が送った『夜と霧』（フランクル）の一語だ。

「人生に意味を問うてはいけない。人生の方から今何ができるかを求められている。それに対して応えていくんだ」

Nさんは「この言葉に私は、人生に試されていると感じ、まだ終わっていない。今できることを全力でやろうと決めました。周りはみんな進路が決まっており、辛い時もありますが、諦めずに最後まで人生の問いに答えていこうと思います。私のことを救ってくれた村田諒太さん。そのことを教えてくれた宗教の授業に感謝し、これからの人生、何があっても「前向きで」生きていきたいと思います。そして、高校受験に失敗し、ここに来て学べたことにも感謝したいと思います。」と記している。人生から「お前はどうか生きてるのが本当なのか」と問いかけられ、「今できることを全力でやろう」と応えたのだ。「人生に開いた穴」の底で、それまでは見えなかった何のものにも替えがたい生きる支えを見出した。

親鸞聖人には「慈光はるかにかぶらしめ／ひかりのいたるところには／法喜をうとぞのべたまう／大安慰を帰命せよ」との御和讃がある。私たちには、たとえ人生の穴が開こうと、そこで私たちを照らす光の言葉、光の人、光の世界に教わり続ける道が開かれている。その「光に目を覚ますのが浄土真宗だ」と私は教わっている。

お文のころ 1巻～3巻



—エッセイ・ここに響く蓮如さんの言葉—

私たちが、朝夕のお勤めの際に拝読するお文。

『お文』とは、蓮如上人の書かれたお手紙です。各巻には、赤本（『真宗大谷派勤行集』）に収められている五帖目のお文と、その他、今の時代に響くお文をそれぞれ一帖ずつ、本文と私訳に加え、エッセイを載せています。私たちへのメッセージとして読みたいものです。月参りや法事等での御文拝読の際や同朋の会等において、活用いただけることを願っております。

集録内容

1巻	末代無智のお文	5帖目1通	物忌のお文	1帖目9通
2巻	御正忌のお文	5帖目11通	疫癘のお文	4帖目9通
3巻	白骨のお文	5帖目16通	睡眠	1帖目6通

1冊100円です。送付の場合は別途送料100円頂きます。但し、1回の注文が5冊以上の場合は送料無料です。ご注文・お問合せは岐阜高山教務所TEL058-266-1378 までお電話下さい。
(岐阜地区出版委員会)



今月のテレフォン法話
テーマ 命の出会い「真実の声を」

TEL 058-265-0033

1月1日～末日

千葉 省氏
(第1組善行寺)

岐阜高山教区ホームページ

<http://otani.gifukyoku.com/>

教区事業日程、公開講座案内、テレホン法話内容など、様々掲載しておりますので、是非ともご活用ください。

『ぎふどうぼう』発行

『ぎふどうぼう』124号を発行しましたので、同封しております。追加で必要の場合は、教務所までご連絡ください。

1月「仏教公開講座」中止

1月20日(水)14時から開催予定の「仏教公開講座」はコロナ感染拡大の為、中止となりました。

教務所・支所年末年始休暇について

下記のとおり事務休暇となりますので、よろしくお願ひいたします。

2020年12月29日(火)

～2021年1月5日(火)

(緊急連絡先)

岐阜別院 TEL058-262-1380

高山別院 TEL0577-32-0688

1月の主な行事

6日(水)	事務初め
8日(金) [14時]	連区推進員会会長会
12日(火) [19時]	高山2組親鸞教室
14日(木) [14時]	解放推進協議会常任委員会
15日(金) [14時]	組門徒会研修作業部会 ^岐
18日(月) [19時]	高山2組門徒会
19日(火) [13時]	高山支部坊守研修会 ^高
21日(木) [13時]	岐阜支部坊守研修会 ^岐
22日(金) [13時半]	広報部会PT ^高
[19時]	高山2組会
25日(月) [19時]	高山2組親鸞教室
26日(火) [14時]	開頭部会 ^岐
[19時]	岐阜教研学習会(中止)
[19時]	高山教研定例
29日(金) [15時]	高山1組組会
30日(土) [14時]	大谷保育従事者研修会 ^岐

研修会のお知らせ

聖典学習会

- ①2月9日(火) ②3月5日(金) ③4月8日(木)
④5月7日(金) ⑤6月15日(火)

・各回午後2時から4時30分

・岐阜高山教務所(高山支所へもWEB配信)

テーマ 『一念多念文意』に学ぶ

講師 高柳正裕氏(同朋大学非常勤講師)

声明講座

①3月3日(水)七条袈裟着脱を中心とした装束作法

②4月7日(水)葬儀次第について

③5月19日(水)中陰について

・各回午後2時から4時30分

・岐阜高山教務所

講師 教区准堂衆会

参加費 年間全3回:1,000円

(1回のみ受講でも1,000円)